

## (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

### ②バーチャル観光やワーケーション需要等、新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備

#### <地域おこし協力隊を活用した観光振興事業>

令和2年度から、地域おこし協力隊制度を活用し、白石城内での甲冑体験の実施を中心に、歴史的観光資源や本市の特性を活かしたイベントの企画、実施を行っている。

また、Facebook、Instagram、Twitter、Youtubeチャンネルを活用し、活動の様子や白石市の情報を発信しており、プロモーションの一役も担っている。新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少する中であっても、徐々に活動が認知されるようになっており、隊員の活躍によって白石城をはじめ白石市の魅力が広く国内外に知られるものとなり、引いては観光振興による地域の活性化につながるよう、活動を続けていく。

#### ○令和5年度の主な活動

- 甲冑体験 インバウンド需要が回復傾向にあることから、外国人に好まれるよう体験内容のブラッシュアップを図りながら実施する。
- 情報発信 外国人観光客の誘客に繋がるよう、多言語発信や掲載媒体を工夫し、インバウンド向けを意識した内容とする。
- 白石城・歴史観光資源を活用したイベント 城キャンプ、利き酒イベントなど



### ③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

#### <国道113号（二市二町）観光推進協議会事業>

平成8年から、国道113号沿線の宮城県、山形県の二市二町の観光資源を共同でPRするため結成された協議会で、白石市から南陽市までの国道113号を愛称「みちのくおとぎ街道」とし、プロモーション活動を中心に、スタンプラリーなど両県をまたいだ周遊を促進する事業を実施している。

また、「みちのくおとぎ街道」は、日本風景街道（所管国土交通省）に登録されており、道をテーマに地域ならではの風景や自然、文化など地域資源を活かした地域づくりを目指し、運営に係るミーティングなどに参加、他の登録ルートの団体と意見交換を行い、活動に活かしている。

#### ○令和5年度の主な活動

「みちのくおとぎ街道」の知名度向上を目指し、高いプロモーション効果が期待できる媒体を選定して情報発信を行う。  
また、事業計画の際は、幅広い層から興味関心を得られるよう事業内容を工夫して実施する。

#### ○令和4年度実施事業

- スタンプラリー事業
- 広告掲載
- ツール・ド・みちのくおとぎ街道



「おでかけみちこ Autumn号掲載」

# 令和5年度 角田市の主要事業について



## (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

### ③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

#### サイクルツーリズム推進計画策定事業

令和4年度策定したかくだサイクルツーリズム推進計画に基づきサイクリストたちの市内への誘致等を促進するために、環境整備やイベントの企画を各種団体と連携しながら実施する。

6月3日 ファミリーサイクリング

## (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進

### ④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション

#### 阿武隈急行沿線開発推進協議会事業

##### (1) 沿線活性化事業の開催

##### ○あぶきゅうウォーク

・ウォーキングを楽しみながら市内の観光地を巡る。

4月30日 コース：角田駅～菜の花畑 10月1日 コース：岡駅～角田宇宙センター

##### (2) 角田市単独の阿武隈急行線利用促進事業

##### ○体験乗車会&お絵かきトレイン

・阿武隈急行駅長による「あぶ急クイズ」や切符の買い方体験、車両窓ガラスへのお絵かき体験。



## (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実

### ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成

#### グリーンツーリズムによる体験型観光の実施

6月19日	梅もぎとり収穫体験	青梅収穫体験、梅ジュース作り
8月	とうもろこし収穫体験	とうもろこしの収穫、袋いっぱい詰め放題
10月	枝豆収穫体験	秘伝豆の収穫、袋いっぱい詰め放題
11月	ねぎまつり（ねぎ収穫体験）	ねぎの収穫、袋いっぱい詰め放題

4月から9月 梨園再生チャレンジ 休耕農地の再生に取り組んでいる梨園の梨が出来るまでの年4回お手伝いをして収穫までを体験。



#### 各種まつりの開催

菜の花まつり	4月22日から5月5日
宇宙っ子まつり	5月5日
梅まつり	6月11日・12日
ずんだまつり	10月1日
牟宇姫ひなまつり	令和5年2月から3月





# 令和5年度 蔵王町の主要事業について

## (1) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実

### ① アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 ＜蔵王町体験交流活動推進協議会事業＞



陶芸教室(蔵王焼 万風窯)



こけし絵付け体験(みやぎ蔵王こけし館)



アイスクリーム作り体験(蔵王酪農センター)

○体験交流活動に係る受入体制の整備、関係団体との連携、連絡調整を継続して実施

○令和5年度実績(予定): 仙台市立中学校3校／県内中学校1校／県外中学校1校…計5校

(仙台市立小学校1校)…(計1校)+主要観光施設 延べ人数約6,200名(予定)



小鳥ブローチ作り(ことりはうす)



森林散策(ことりはうす)



テーブルマナー(Active Resorts宮城蔵王)



# 令和5年度 七ヶ宿町の主要事業について

## (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

### ②バーチャル観光やワーケーション需要等，新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備 農業体験などによる宿泊型交流事業

(株)ベガルタ仙台と七ヶ宿まちづくり(株)と連携し、町内の空き家をリノベーションした「ベガルタハウス」の畑を活用し、種まきから収穫、販売など年間を通じたイベントを展開することで町に訪れる交流人口の増加を図る。また、小学校や七ヶ宿ダム自然休養公園運動広場(スポーツパーク七ヶ宿ベガルタ仙台)を利用したサッカー教室や宿泊イベントを通してスポーツの振興を図る。



## (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進

### ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 七ヶ宿ブランド事業

既存ブランド品のパッケージ更新のほか、ブランド品の更新認定を行うと共に新規認定品の発掘にも取り組む。町内の直売施設やイベント等での販売のほか、町公式ショッピングサイト「なないろストア」、パンフレット等を積極的に活用し、周知・広報を行うと共に、販路拡大を目指しつつ引き続き七ヶ宿ブランドの認知を図っていく。



## (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や，滞在型メニューの充実

### ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成

#### 南蔵王やまびこの森整備事業

4月から10月のキャンプ場運営に加え、長老湖を利用したSUP体験についても昨年より利用者が増加しており、多くの方に好評をいただいた。既存事業のほか、施設を利用したイベントの実施、長らく休止状態にあった長老湖売店を再活用など、より多くの観光客に満足していただけるような事業展開を進めていく。



南蔵王やまびこの森



# 令和5年度 大河原町の主要事業について

## (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在メニューの充実

### ② 隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成

#### ▶ 一目千本桜ブランド化事業（植樹100周年記念事業）

#### ● 柴田町・大河原町の2町連携事業

- ・ フォトパネル展やスタンプラリー等のイベント
- ・ 2町共通のポスター等によるプロモーション活動

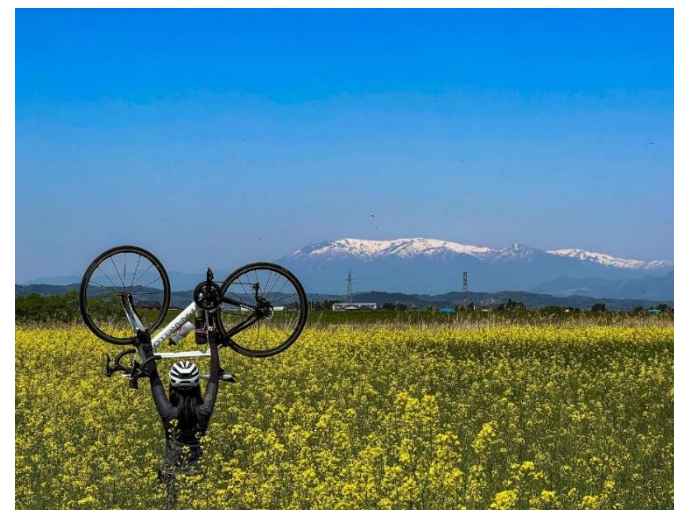


一目千本桜植樹100周年

▲ロゴマーク（100年・桜・蔵王をイメージ）

#### ▶ みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議

- ・ 初級サイクリスト体験ライド  
村田町コース実施予定
- ・ みやぎ蔵王三十六景デジタルスタンプラリー
- ・ サイクルラック設置
- ・ SNS等による各市町の自転車施策の情報発信強化





# 令和5年度 村田町の主要事業について

## (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

### ③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

#### ●2023 FIMアジアロードレース選手権第3戦日本ラウンド

・6月24日、25日の2日間、スポーツランドSUGOと村田町を含めた組織委員会で開催。去年に引き続き、スポーツランドSUGOで行われた国際レース。日本を含めたアジア各国からトップライダーたちが参戦し熱いレースが繰り広げられた。



#### ●宮城オルレ村田コース

・2023年11月オープン予定。村田コースは、町の中心部と里山の距離が近く、歴史が色濃く残る「蔵の町並み」と自然豊かな里山の道を楽しめるコース。ほかにも、いたるところに神社仏閣や信仰の場所が登場し、山の神様を信仰した場所や、鬼の手跡が残る岩、綺麗な水が流れる沢の下に安置されている仏像など、地域住民の信仰のかたちに触れることができる。





## (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

### ③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

#### ○交流人口拡大事業

●1年を通じた「花のまち柴田」をテーマにした四季の花まつり  
(通年観光の展開)

- ・しばた桜まつり（3月31日～4月13日）
- ・しばた紫陽花まつり（6月中旬～7月上旬）
- ・しばた曼珠沙華まつり（9月中旬～10月上旬）
- ・みやぎ大菊花展柴田大会（10月中旬～11月上旬）
- ・Shibata Fantasy Illumination（12月1日～30日）
- ・しばたスプリングフラワーフェスティバル（3月中旬）



## (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進

### ④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション

#### ○「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業

- ・「一目千本桜」の植樹100周年を記念したロゴマークデザインを一般公募し、決定。
- ・デジタル、アナログに関わらず一目千本桜を写した写真を一般の方含め広く募集する思い出フォトコンテストを実施。



## (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実

### ②隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成

#### ○ガーデンツーリズム推進事業（庭園間交流連携促進事業）

- ・推進協議会委員向けに、「広域連携・広域観光」をテーマとした研修会を開催。  
(令和4年度実績)
- 1.令和4年12月26日（月）開催（行政委員対象）
- 2.令和5年 3月 3日（金）開催（民間委員向け）
- 3.域内の情報を集約したホームページを作成中





# 令和5年度 川崎町の主要事業について

## (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

### ③ 地域コンテンツ一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進ふるさと応援商品券発行事業

- 町民1人あたり6,000円分の商品券を配布し、約54,600千円の需要を創出する計画。
- 令和5年6月より順次配布を開始し、7月1日から令和6年2月29日までの期間で使用率の向上を図る。
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用

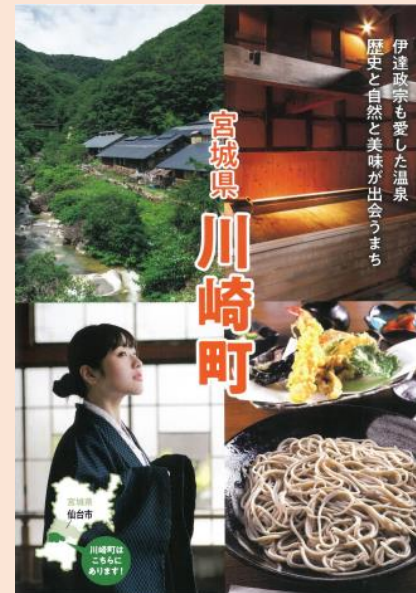


### 川崎町総合観光・物産情報誌作製事業

- 観光需要の変化に伴う紙面情報の精査と更新により、新たな誘客を図る。

### 包括的シティプロモーション事業

- YouTubeコンテンツ制作、ラジオ番組制作
- それぞれ月2回のペースで配信中
- 前年度からの継続





# 令和5年度 丸森町の主要事業について

## (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

### ③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

#### 丸森町町内経済活性化事業

##### (1) 5割増商品券販売事業【6月補正】

- ・ 事業費：29,000,000円
  - ・ 発行総額：75,000,000円（1セット7,500円分、合計10,000セット）
  - ・ 令和5年7月22日（土）販売予定
- ※売れ残った場合は、7月24日（月）以降に丸森町商工会で販売予定

## (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実

### ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会事業

○本年度の予定

- ・ 募集型体験企画（主催）

企画内容（御朱印つき猫神さま巡り（通年）、栗拾い体験（秋）、ころ柿作り体験（秋）、地域歩き企画（秋）



猫神さま巡り



栗拾い体験



ころ柿作り体験



地域歩き企画  
（地域イベントと協力予定）

- ・ 地域への誘客、周遊のための御朱印・御集印の制作検討（案：七夕神社の御朱印制作）
- ・ 七夕神社周辺を巡るバスツアー企画（企画協力、旅行実施は丸森“こらいん”ツーリスト）